

「先進ごみ処理施設見学会」参加者アンケート結果

資料 1

1. 見学会の概要

開催日時：令和2年12月15日（火）10時00分から12時00分

見学先：京都市南部クリーンセンター第二工場（さすてな京都）

見学内容：①施設紹介のDVD鑑賞

②施設見学

③質疑応答

参加者：14名（新ごみ処理施設整備連絡協議会委員）

2. アンケート結果

(1) 今後、新ごみ処理施設整備に関し協議していくにあたり、参考にしてほしい設備や機能はありましたか。

① あったと回答：13人 ② なかったと回答：1人

(2) (1) の質問で①に回答された場合

どのような設備や機能が参考になりましたか。施設ごとにご記入ください。

【ごみ処理施設】

ごみピット

バイオガス化施設全体（メタン発酵槽、ガスエンジン等）

蒸気タービン発電機

排ガス処理設備（ろ過式集じん器、湿式ガス洗浄塔、活性炭吸着塔、脱硝反応塔）

アルミ選別機

見学通路

【環境学習施設】

展望台

足湯施設

ビオトープ

体験型学習設備（自転車発電、模擬ごみクレーンバケット、炉内体験等）

ごみ削減啓発掲示物（数字・イラストでわかりやすく示す）

見学通路

学習室

ガイダンス映像技術

(3) (1) の質問で②に回答された場合

理由をお聴かせください。

- ・施設規模の大小はあるが、設備や機能について基本的には大きく変わらないため。
- ・排ガス等について、法令より厳しい公害防止基準を設定し監視している様子も他施設において違いはない。

(4) 本日の見学会の感想、その他新ごみ処理施設建設に関してご意見等がありましたらお聴かせください。

【見学会・見学施設に関すること】

- ・施設規模は違うが、処理をする工程は同じだと思うので参考になった。
- ・汚いイメージをなくし、誰でも見学・勉強に行けるようにしている点が良い。
- ・学習講座が多種あり、環境問題に対して熱心に取り組まれていた。
- ・見学ルートが上手に設定できており、わかりやすかった。
- ・見学中は、ほこり・臭気が全く気にならなかった。
- ・新ごみ処理施設の規模と同等の施設見学をしたい。
- ・地域の憩いの場となる等、施設と周辺地域が連携した施設の見学を望む。
- ・専門的な知識を有したスタッフの施設案内体制ができている。
- ・スタッフの対応が丁寧で解りやすかった。
- ・環境に配慮した施設であることが強く感じられた。
- ・施設が一般公開されており、ごみに対する住民の認識を変えていくためには非常に有効であると感じた。
- ・予約なしで個人でも見学できることが良い。(定時催行ツアー)
- ・見学会終了後に意見や感想を話し合う場があれば良かった。
- ・エネルギーの効率利用、排ガス処理、選別資源化等の技術を知ることができた。
- ・施設見学のカリキュラムが充実しており、環境学習やごみ問題の啓発に向けて非常に参考になった。
- ・見学者に対し、視覚・体感的に見学できる施設であり、再見学したくなるような魅力的でわかりやすい展示内容であった。
- ・展望台の必要性が疑問に思う。
- ・日本の技術力を活かした施設に感動した。
- ・子供から大人まで学習の場が設けられ、市内を一望できる展望台や足湯等、観光を兼ねた施設であった。

【新ごみ処理施設建設に関すること】

- ・住民に対し「開かれた施設」となるよう施設整備に取り組んでいただきたい。
- ・荒神山には参道を散歩される方が多いので、施設の駐車場をアクセスポイントとして整備し、また、足湯を設置するなど、休憩ができるようにしてほしい。
- ・煙突から排出される物質は、水蒸気のみとPRできるよう発電設備等（バイオガス化）を有効活用すること。
- ・ごみを資源化し、減少させることが大きな課題であると施設見学によりPRする必要がある。
- ・今回の見学会で得た情報を参考に可能なものは新ごみ処理施設に反映してほしい。
- ・近隣施設と連携して稼働できるよう考慮するとよい。
- ・見学施設のように綺麗なイメージの施設を整備できれば良い。
- ・見学施設の施設規模が大きく、立派すぎる施設を見てしまったので、後に整備される新施設に対する感想が心配になる。
- ・荒神山を含め、施設の周囲が美しい場所になるようにしていきたい。
- ・環境に対する日常の考え方、生き方を養っていきたい。
- ・都市圏であるのに1人あたりのごみ量が減量できたのか追求するとともに当圏域でも参考にする必要がある。
- ・荒神山神社等の風評被害の払拭に努めなければならない。
- ・荒神山神社や古墳と共存・共栄できれば、新施設が住民の拠り所になると信じている。